

2018年度 (第8期)

事業報告書

(2018年4月～2019年3月)



ハイライト

---

# 事業の全体像

当初の事業計画で掲げた事業展開の方針に基づき、複数の事業を実施した。  
新規事業として新たに1事業を展開した。

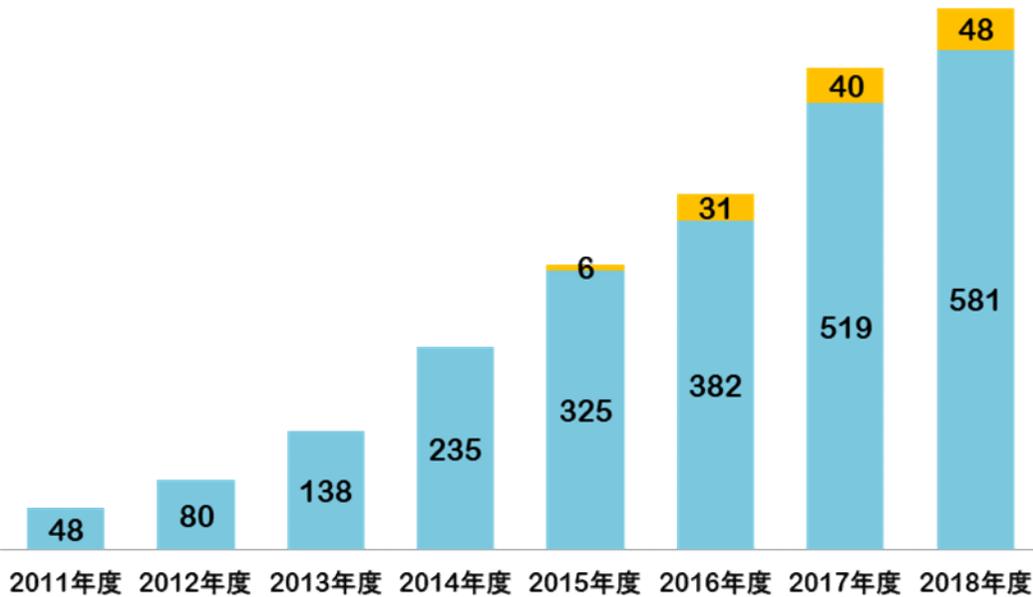
分類	事業分類	事業名	変更点等
直接支援系	まなびサポート	仙台市学習・生活サポート事業	保護者のピアサポートを追加
		仙台市中退等未然防止事業	日中の時間帯追加
		岩沼市学習支援事業	
		宮城県子どもの学習支援事業（仙南・宮城黒川圏域）	
		宮城県子どもの学習支援事業（北部圏域）	新規
		白石市子どもの学習等支援事業	
	フリースクール	フリースクール	
	こども食堂	多賀城こども食堂	
保護者サポート	仙台市ひとり親家庭生活支援講習会事業		
中間支援系	居場所	塩竈アフタースクール事業	
	こども食堂	宮城県子ども食堂立ち上げ支援事業	代表法人がTEDICからアスイクへ変更
	学習支援	モデル移転事業	
	人材育成	ユースソーシャルワークみやぎ	

# 受益者数・拠点数の推移

受益者数、拠点数ともに年々増加している。

### 受益者数（子ども）の推移（人）

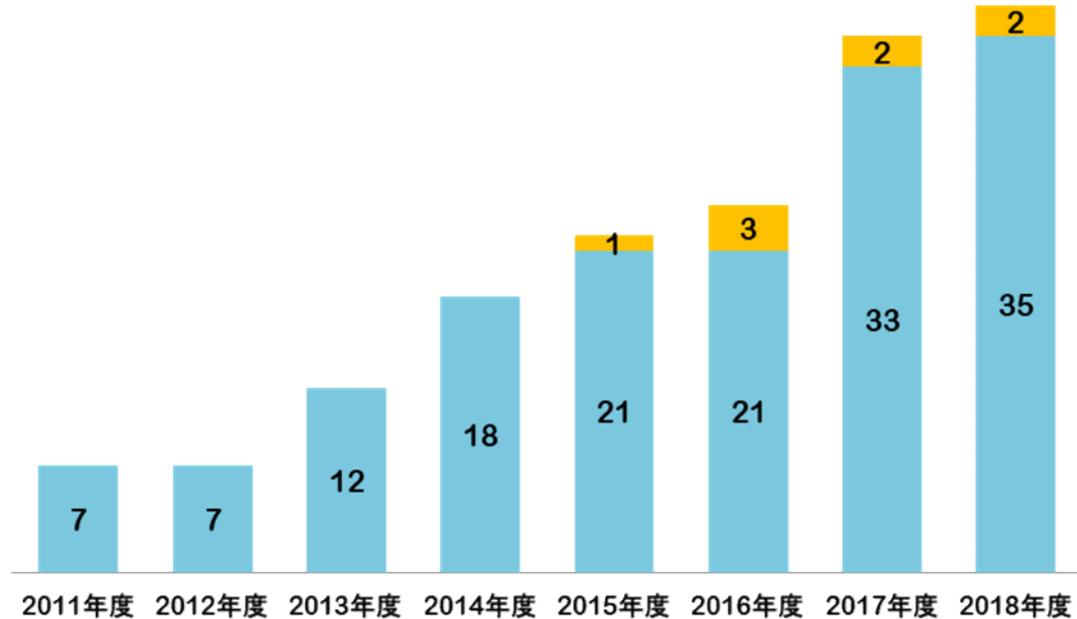
■ 学習支援 ■ フリースクール他



✓ 北部圏域での事業開始、仙台市中途退学未然防止等事業の利用者増加等によって、子どもの受益者数が増加した。

### 拠点数の推移（ヶ所）

■ 学習支援 ■ フリースクール等



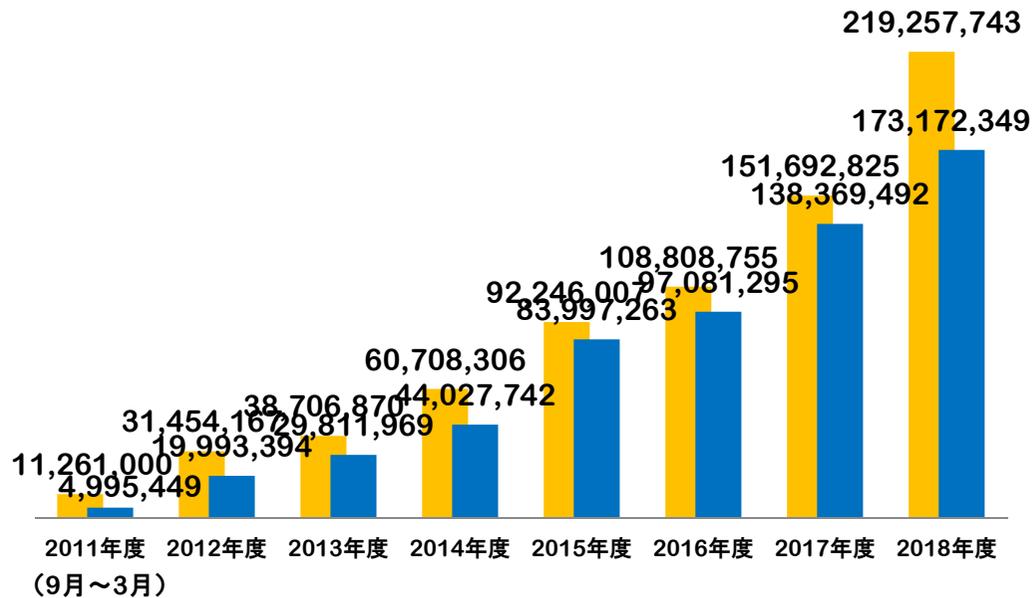
✓ 北部圏域での事業実施に伴い、拠点数が増加した。

# 収支・収益構造の推移

年々事業規模は拡大を続けているが、財務面での健全性も維持している。

### 収支の推移

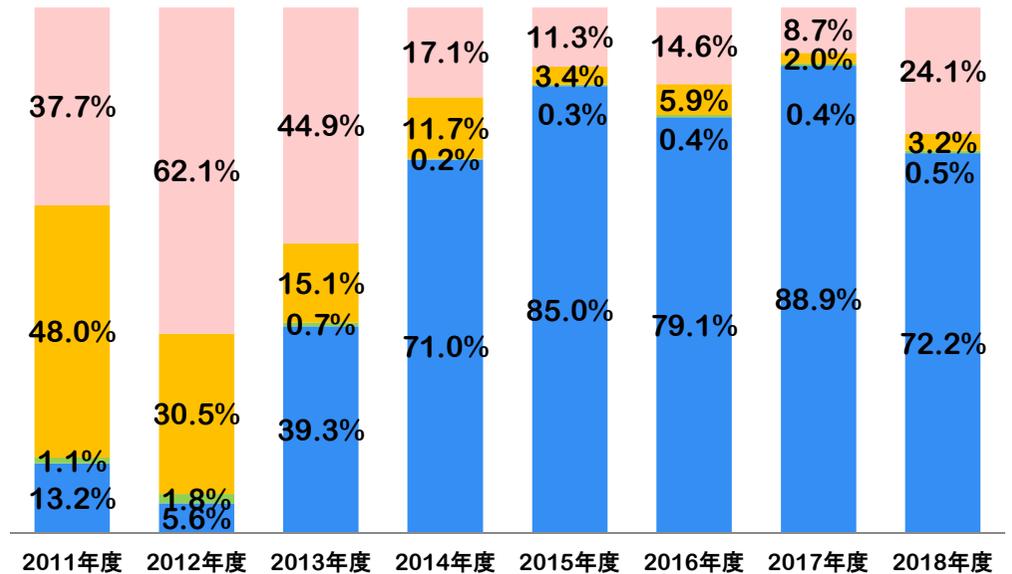
■ 収入 ■ 支出 (単位：円)



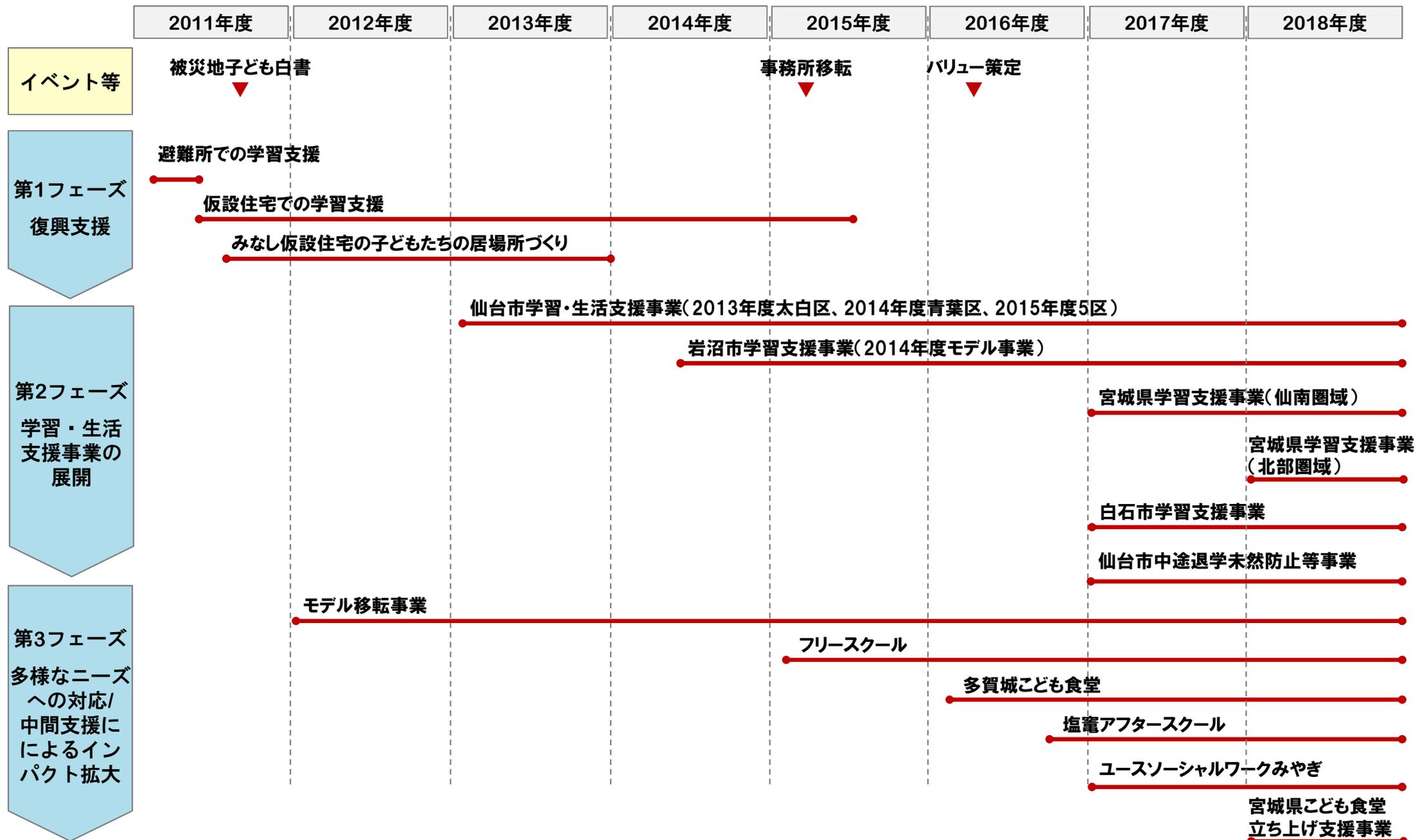
✓ 収入は対前年度比144%であり、過去最大の事業規模となった。

### 収益構造の推移

■ 事業収入 ■ 会費・その他 ■ 寄付金 ■ 助成金



✓ 新規事業である保育園の開園準備のために、助成金・補助金比率が拡大した。



## 事業詳細

---

観点	要素	指標	定義	測定方法	2018年度実績	2018年度目標値	
アウトプット	教室運営 (量的側面)	拠点開設数	何ヶ所の拠点(教室)を開設したか	---	20ヶ所	20ヶ所	
		参加者数	何人の対象者が参加したか	参加者リストへの記録	295人	400人	
		カバー率	事業実施地域の対象者をどれだけカバーしたか	参加者数/地域内対象人数	約18%	約25%	
		開催回数	延べ何回(日)の活動を行なったか	記録表による集計	1,908回	1900回	
		開催時間	延べ何時間の活動を行なったか	記録表による集計	5724時間	5700時間	
	教室運営 (質的側面)	出席率	子どもがどれだけ継続的に参加したか	実際の参加日/参加申込日	69%	70%	
		休止率	どの程度の参加者が途中で休止したか	参加者リストへの記録	32%	20%	
		途中退会率	どの程度の参加者が途中で退会したか	参加者リストへの記録	1%	2.5%	
	ボランティア	参加ボランティア数	何人のボランティアが参加したか	ボランティアリストによる集計	305人	300人	
		研修会開催回数	ボランティア・スタッフ向けのフォローアップ研修会を何回開催したか	記録表による集計	4	4回	
		研修会参加人数	延べ何人のボランティア・スタッフが研修会に参加したか	記録表による集計	181人	延160人	
	体験プログラム	プログラム開催回数	体験プログラムをいくつ開催したか	記録表による集計	9	6プログラム	
		プログラム参加人数	何人の子どもがプログラムに参加したか	記録表による集計	203人	90人	
	保護者支援	保護者の面談件数	保護者に対して、何件の面談を行なったか	記録表による集計	1,168件	600件	
専門サポートへのつなぎ件数		面談の結果から、何件のケースを適切な専門サポートにつないだか	記録表による集計	258件	20件		
アウトカム	学力・学歴	高校進学率	どの程度の割合が高校に進学したか	高校進学者数/参加者数(中学3年生のみ)	100%	100%	
		基礎学力	参加者の基礎学力がどの程度高まったか	参加時の学力診断テストの結果/期末時点の学力診断テストの結果	英語:6.4点 数学:3.4点	英語:10点 数学:10点	
	自尊心・意欲	学習意欲	参加したことで、学習、自己成長に対する意欲が高まったか	参加者アンケート (肯定回答割合)	74%	70%	
		努力意欲	参加したことで、努力したら報われるという意識が高まったか		71%	70%	
	ソーシャルスキル	社会規範	参加したことで、ルールやマナーを守る意識が高まったか		75%	70%	
		コミュニケーション力	参加したことで、多様な人とコミュニケーションする自信が高まったか		78%	70%	
	福祉依存	自立への意欲	参加したことで、経済的な自立をしようという意識が高まったか		74%	70%	
		文化資本	参加したことで、高校に進学しようという意識が生まれたか		86%	70%	
	健康状態・生活リズム	精神状態の改善	参加したことで、学校や生活の悩みが軽くなったか		75%	70%	
		生活習慣の改善	参加したことで、規則正しい生活ができるようになったか		75%	50%	
	社会への信頼	他者への信頼	参加したことで、人や社会への信頼感が高まったか		80%	70%	
		ロールモデル	スタッフやボランティアなどに、目標やあこがれとなる人が見つかったか		79%	50%	
	保護者との関係	関係性	参加したことで、親子の関係性が良くなったか		参加者アンケート・保護者アンケート	参加者:56%	参加者:60%
		将来の話し合い	参加したことで、将来について話し合う機会が増えたか			保護者:47%	保護者:60%
	保護者のストレス	子育てのストレス	参加したことで、子育ての負担感が減ったか		保護者アンケート	65%	60%
		存在の受容	一人一人が大切にされたと感じているか		参加者アンケート	69%	70%
	満足度	活動への満足度	参加してよかったと感じているか		参加者アンケート・保護者アンケート	86%	70%
サポートへの満足度		スタッフ・ボランティアは適切なかかわり方や信頼関係の構築ができたか	参加者:93%			参加者:90%	
			保護者:90%			保護者:90%	

観点	要素	指標	定義	測定方法	2018年度実績	目標値
アウトプット	教室運営 (量的側面)	拠点開設数	何ヶ所の拠点(教室)を開設したか	---	3ヶ所	3ヶ所
		参加者数(拠点)	何人の対象者が参加したか	参加者リストへの記録	79人	80人
		参加者数(訪問支援)	何人の対象者が参加したか	参加者リストへの記録	2人	1人
		サポート参加延人数	延べ何人がサポートに参加したか	記録表による集計	1736人	1,725人
	ボランティア	研修会開催回数	ボランティア・スタッフ向けのフォローアップ研修会を何回開催したか	記録表による集計	4回	4回
		研修会参加人数	延べ何人のボランティア・スタッフが研修会に参加したか	記録表による集計	25人	8人
体験プログラム	プログラム開催回数	体験プログラムをいくつ開催したか	記録表による集計	6	6プログラム	
	プログラム参加人数	何人の子どもがプログラムに参加したか	記録表による集計	58人	60人	
アウトカム	学力・学歴	高校中退率	どの程度の割合が高校を中退したか	中退者数/登録者数(高校年代)	2%	3%
		高校中退者の社会的自立率	中退した高校生の何割が教育機関、就労支援機関、福祉施設等の社会資源につながったか	社会資源へのつながり数/中退者数	60%	100%

観点	要素	指標	定義	測定方法	実績
アウトプット	教室運営 (量的側面)	拠点開設数	何ヶ所の拠点(教室)を開設したか	---	1ヶ所
		参加者数(拠点)	何人の対象者が参加したか	参加者リストへの記録	43人
		参加者数(訪問支援)	何人の対象者が参加したか	参加者リストへの記録	2人
		カバー率	事業実施地域の対象者をどれだけカバーしたか	参加者数/地域内対象人数	---
		開催回数	延べ何回(日)の活動を行なったか	記録表による集計	210回
		開催時間	延べ何時間の活動を行なったか	記録表による集計	630時間
	教室運営 (質的側面)	出席率	子どもがどれだけ継続的に参加したか	実際の参加日/参加申込日	68%
		休止率	どの程度の参加者が途中で休止したか	参加者リストへの記録	35%
		途中退会率	どの程度の参加者が途中で退会したか	参加者リストへの記録	0.0%
	ボランティア	参加ボランティア数	何人のボランティアが参加したか	ボランティアリストによる集計	18人
		研修会開催回数	ボランティア・スタッフ向けのフォローアップ研修会を何回開催したか	記録表による集計	4回
	体験プログラム	研修会参加人数	延べ何人のボランティア・スタッフが研修会に参加したか	記録表による集計	12人
		プログラム開催回数	体験プログラムをいくつ開催したか	記録表による集計	8
	保護者支援	プログラム参加人数	何人の子どもがプログラムに参加したか	記録表による集計	16人
保護者の面談件数		保護者に対して、何件の面談を行なったか	記録表による集計	116	
	専門サポートへのつなぎ件数	面談の結果から、何件のケースを適切な専門サポートにつないだか	記録表による集計	2	
アウトカム	学力・学歴	高校進学率	どの程度の割合が高校に進学したか	高校進学者数/参加者数(中学3年生のみ)	100%
		高校中退率	どの程度の割合が高校を中退したか	中退者数/登録者数(高校年代)	9%
		高校中退者の社会的自立率	中退した高校生の何割が教育機関、就労支援機関、福祉施設等の社会資源につながったか	社会資源へのつなぎ数/中退者数	67%
		基礎学力	参加者の基礎学力がどの程度高まったか	参加時の学力診断テストの結果/期末時点の学力診断テストの結果	英語: 7.9点 数学: 0.4点
	自尊心・意欲	学習意欲	参加したことで、学習、自己成長に対する意欲が高まったか	参加者アンケート (肯定回答割合)	100%
		努力意欲	参加したことで、努力したら報われるという意識が高まったか		90%
	ソーシャルスキル	社会規範	参加したことで、ルールやマナーを守る意識が高まったか		90%
		コミュニケーション力	参加したことで、多様な人とコミュニケーションする自信が高まったか		90%
	福祉依存	自立への意欲	参加したことで、経済的な自立をしようという意識が高まったか		70%
		文化資本	進学への意欲		参加したことで、進学しようという意識が生まれたか
	健康状態・生活リズム	精神状態の改善	参加したことで、学校や生活の悩みが軽くなったか		100%
		生活習慣の改善	参加したことで、登校日数が増えたり、規則正しい生活ができるようになったか		100%
	社会への信頼	他者への信頼	参加したことで、人や社会への信頼感が高まったか		80%
		ロールモデル	ロールモデル		スタッフやボランティアなどに、目標やあこがれとなる人が見つかったか
	保護者との関係	関係性	参加したことで、親子の関係性が良くなったか	参加者アンケート・保護者アンケート	参加者: 75% 保護者: 84%
		将来の話し合い	参加したことで、将来について話し合う機会が増えたか		85%
	保護者のストレス	子育てのストレス	参加したことで、子育ての負担感が減ったか	保護者アンケート	86%
		存在の受容	一人一人が大切にされたと感じているか	参加者アンケート	90%
	満足度	活動への満足度	参加してよかったと感じているか	参加者アンケート・保護者アンケート	参加者: 100% 保護者: 100%
		サポートへの満足度	スタッフ・ボランティアは適切なかわり方や信頼関係の構築ができたか		参加者: 100% 保護者: 85%

観点	要素	指標	定義	測定方法	2018年度実績	
アウトプット	教室運営 (量的側面)	拠点開設数	何ヶ所の拠点(教室)を開設したか	---	10ヶ所	
		参加者数(拠点)	何人の対象者が参加したか	参加者リストへの記録	142人	
		参加者数(訪問支援)	何人の対象者が参加したか	参加者リストへの記録	17人	
		カバー率	事業実施地域の対象者をどれだけカバーしたか	参加者数/地域内対象人数	---	
		開催回数	延べ何回(日)の活動を行なったか	記録表による集計	553回	
		開催時間	延べ何時間の活動を行なったか	記録表による集計	1659時間	
	教室運営 (質的側面)	出席率	子どもがどれだけ継続的に参加したか	実際の参加日/参加申込日	79%	
		休止率	どの程度の参加者が途中で休止したか	参加者リストへの記録	29%	
		途中退会率	どの程度の参加者が途中で退会したか	参加者リストへの記録	1%	
	ボランティア	参加ボランティア数	何人のボランティアが参加したか	ボランティアリストによる集計	26人	
		研修会開催回数	ボランティア・スタッフ向けのフォローアップ研修会を何回開催したか	記録表による集計	4回	
	体験プログラム	研修会参加人数	延べ何人のボランティア・スタッフが研修会に参加したか	記録表による集計	34人	
		プログラム開催回数	体験プログラムをいくつ開催したか	記録表による集計	8	
	保護者支援	プログラム参加人数	何人の子どもがプログラムに参加したか	記録表による集計	59人	
保護者の面談件数		保護者に対して、何件の面談を行なったか	記録表による集計	520件		
保護者支援	専門サポートへのつなぎ件数	面談の結果から、何件のケースを適切な専門サポートにつないだか	記録表による集計	25件		
	学力・学歴	高校進学率	どの程度の割合が高校に進学したか	高校進学者数/参加者数(中学3年生のみ)	97%	
高校中退率		どの程度の割合が高校を中退したか	中退者数/登録者数(高校年代)	0%		
高校中退者の社会的自立率		中退した高校生の何割が教育機関、就労支援機関、福祉施設等の社会資源につながったか	社会資源へのつなぎ数/中退者数	---		
基礎学力		参加者の基礎学力がどの程度高まったか	参加時の学力診断テストの結果/期末時点の学力診断テストの結果	英語:7.3点 数学:8.3点		
アウトカム	自尊心・意欲	学習意欲	参加したことで、学習、自己成長に対する意欲が高まったか	参加者アンケート (肯定回答割合)	80%	
		努力意欲	参加したことで、努力したら報われるという意識が高まったか		79%	
	ソーシャルスキル	社会規範	参加したことで、ルールやマナーを守る意識が高まったか		84%	
		コミュニケーション力	参加したことで、多様な人とコミュニケーションする自信が高まったか		74%	
	福祉依存 文化資本	自立への意欲	参加したことで、経済的な自立をしようという意識が高まったか		73%	
		進学への意欲	参加したことで、進学しようという意識が生まれたか		69%	
	健康状態・ 生活リズム	精神状態の改善	参加したことで、学校や生活の悩みが軽くなったか		77%	
		生活習慣の改善	参加したことで、登校日数が増えたり、規則正しい生活ができるようになったか		81%	
	社会への信頼 ロールモデル	他者への信頼	参加したことで、人や社会への信頼感が高まったか		68%	
		ロールモデル	スタッフやボランティアなどに、目標やあこがれとなる人が見つかったか		73%	
	保護者との関係	関係性	参加したことで、親子の関係性が良くなったか		参加者アンケート・保護者アンケート	参加者:58% 保護者:60%
		将来の話し合い	参加したことで、将来について話し合う機会が増えたか			56%
	保護者のストレス	子育てのストレス	参加したことで、子育ての負担感が減ったか		保護者アンケート	69%
		満足度	存在の受容		一人一人が大切にされたと感じているか	参加者アンケート
活動への満足度	参加してよかったと感じているか		参加者アンケート・保護者アンケート	参加者:96% 保護者:100%		
サポートへの満足度	スタッフ・ボランティアは適切なかかわり方や信頼関係の構築ができたか			参加者:93% 保護者:98%		

要素	指標	定義	測定方法	実績
教室運営 (量的側面)	拠点開設数	何ヶ所の拠点(教室)を開設したか	---	1ヶ所
	参加者数(拠点)	何人の対象者が参加したか	参加者リストへの記録	23人
	参加者数(訪問支援)	何人の対象者が参加したか	参加者リストへの記録	1人
	カバー率	事業実施地域の対象者をどれだけカバーしたか	参加者数/地域内対象人数	---
	開催回数	延べ何回(日)の活動を行なったか	記録表による集計	195回
	開催時間	延べ何時間の活動を行なったか	記録表による集計	585時間
教室運営 (質的側面)	出席率	子どもがどれだけ継続的に参加したか	実際の参加日/参加申込日	62.3%
	休止率	どの程度の参加者が途中で休止したか	参加者リストへの記録	25%
	途中退会率	どの程度の参加者が途中で退会したか	参加者リストへの記録	0.0%
ボランティア	参加ボランティア数	何人のボランティアが参加したか	ボランティアリストによる集計	10人
	研修会開催回数	ボランティア・スタッフ向けのフォローアップ研修会を何回開催したか	記録表による集計	4回
	研修会参加人数	延べ何人のボランティア・スタッフが研修会に参加したか	記録表による集計	0人
体験プログラム	プログラム開催回数	体験プログラムをいくつ開催したか	記録表による集計	8
	プログラム参加人数	何人の子どもがプログラムに参加したか	記録表による集計	8人
保護者支援	保護者の面談件数	保護者に対して、何件の面談を行なったか	記録表による集計	72人
	専門サポートへのつなぎ件数	面談の結果から、何件のケースを適切な専門サポートにつないだか	記録表による集計	5件
学力・学歴	高校進学率	どの程度の割合が高校に進学したか	高校進学者数/参加者数(中学3年生のみ)	100%
	高校中退率	どの程度の割合が高校を中退したか	中退者数/登録者数(高校年代)	0%
	高校中退者の社会的自立率	中退した高校生の何割が教育機関、就労支援機関、福祉施設等の社会資源につながったか	社会資源へのつなぎ数/中退者数	---
	基礎学力	参加者の基礎学力がどの程度高まったか	参加時の学力診断テストの結果/期末時点の学力診断テストの結果	英語:3.2点 数学:1点
自尊心・意欲	学習意欲	参加したことで、学習、自己成長に対する意欲が高まったか	参加者アンケート (肯定回答割合)	75%
	努力意欲	参加したことで、努力したら報われるという意識が高まったか		84%
ソーシャルスキル	社会規範	参加したことで、ルールやマナーを守る意識が高まったか		50%
	コミュニケーション力	参加したことで、多様な人とコミュニケーションする自信が高まったか		66%
福祉依存 文化資本	自立への意欲	参加したことで、経済的な自立をしようという意識が高まったか		50%
	進学への意欲	参加したことで、進学しようという意識が生まれたか		66%
健康状態・ 生活リズム	精神状態の改善	参加したことで、学校や生活の悩みが軽くなったか		44%
	社会への信頼	参加したことで、人や社会への信頼感が高まったか		50%
ロールモデル	ロールモデル	スタッフやボランティアなどに、目標やあこがれとなる人が見つかったか		58%
保護者との関係	関係性	参加したことで、親子の関係性が良くなったか		参加者アンケート・保護者アンケート
	将来の話し合い	参加したことで、将来について話し合う機会が増えたか	67%	
保護者のストレス	子育てのストレス	参加したことで、子育ての負担感が減ったか	保護者アンケート	67%
	存在の受容	一人一人が大切にされたと感じているか	参加者アンケート	58%
満足度	活動への満足度	参加してよかったと感じているか	参加者アンケート・保護者アンケート	参加者:92% 保護者:100%
	サポートへの満足度	スタッフ・ボランティアは適切ななかかわり方や信頼関係の構築ができたか		参加者:92% 保護者:100%

- 仙台市内の中学生の子をもつひとり親家庭を対象に高校進学にかかる費用に関する講座を開催した。
- 中1～3年生まで多くの方が参加できるよう、時期をずらし平日夜間と休日日中のバリエーションで3日程実施。実施場所は仙台駅からアクセスが良いアスイク本部で行った。
- 在籍中学校で実施された高校説明会での説明に理解が十分でなかった方や中1～2年生の保護者の参加も多かった。

## 講座の概要

- 実施背景：
  - 高校入試制度概要と進学費用やそれに関わる支援金制度等の解説，費用捻出のための家計見直しワークショップを実施。例年，アスイクに参加している家庭の保護者からの質問が多く，子どもの進路選択に関わる部分で保護者が最も心配する項目の一つである。親子間で進路選択の意見が食い違う際の論点の一つでもあるため，お互いに納得できる進路選択の一助となることを狙い，今回開催に至った。
- 実施協力：みやぎ生活協同組合 くらしと家計の相談室 副室長 向井優子氏
- 当日概要：
 

2018年8月18日 (土)	13:00~16:00	アスイク本部	11名 (申込13名)
2018年9月8日 (土)	13:00~16:00	アスイク本部	13名 (申込15名)
2018年11月30日 (金)	18:00~21:00	アスイク本部	9名 (申込10名)

参加者合計：33名

※また上記以外に，欠席もしくは講座の内容を知りたいという方に資料を送付アスイク利用者では要望に応じて個別面談も行った。(計5名)
- プログラム：
  - ▶宮城県の公立高校入試制度及び私立高校入試について
  - ▶高校進学費用について
  - ▶家計見直しワークショップ

## 実施風景



- 子どもの年齢制限を設けず、ひとり親家庭という広い枠で実施。
- ワークショップ形式を基本としながら、講義形式も織り交ぜ家庭で生かせるコーチング内容を学んだ。1ヶ月に1回のペースで各回を行なった。

### 講座の概要

### 実施風景

- 実施背景：
    - ひとり親家庭の場合、保護者一人で母役として、父役として、社会人として、地域住民としてなど複数の役割を担っている(担わざるを得ない)方が多く、一人でそうした役割分担を担うことで、子どもが混乱したり、親子の関わりがぎくしゃくしたりする等、少なからず影響が出ている部分が見受けられる。子どもとの関わりのヒントを得ることで、家庭内での養育課題の抱え込み、子どもへの過干渉、ひいては虐待予防につながればという意図もある。
    - 「ひとり親家庭」という参加カテゴリーの枠内で、困ったこと、悩み等の共有、助言、応援などが参加者同士で行われ、話す方も聞く方も「ひとりではない」という安心感やつながりを得てもらうピアカウンセリングの効果も開催目的の一つである。
  - 実施協力：コーチング研修会社 ドリームフィールド
  - 当日概要：
    - 2018年 9月25日(火)18:00～21:00 仙台レインボーハウス 0名（当日キャンセル3名）
    - 2018年10月27日(日)13:00～16:00 仙台市市民活動サポートセンター 4名（当日キャンセル4名）
    - 2018年12月 2日(土)13:00～16:00 アスイク本部 3名（当日キャンセル7名）
- 合計参加者数7名
- プログラム：自己紹介、子育てで困っていること・悩みの共有
    - コーチングの考え方
    - 自分の価値観を知る
    - コーチングの基本スキル（傾聴、承認、ターゲットストローク）



- 2018年度の当助成により実施した人材育成策が奏功し、スタッフのスキル向上、チーム力向上が実現した結果、登録者数が増え、1日当たりの利用者数もV字回復している（利用者数35人・開設月から11.6倍、1日当たりの利用者数9.4人・同6.6倍）。

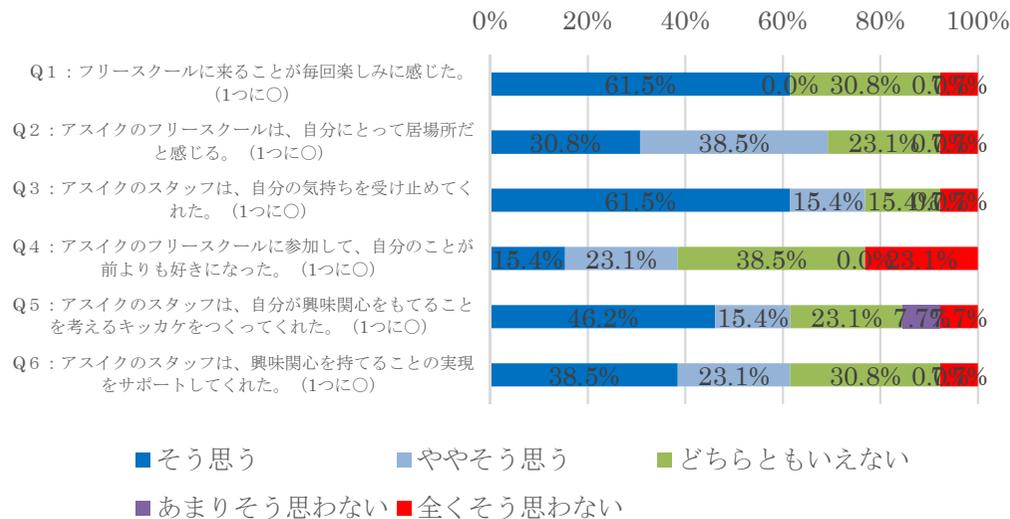
## 概要

- 対象：中学生～高校生年代
- 開設時間：月～金 13:00～17:00
- 場所： 仙台市宮城野区榴岡4-5-2大野第2ビル2階
- 実施内容：

小学生～高校生年代の不登校の子どもたちを対象とした居場所の運営。子どもたちの希望する過ごし方を尊重し、オーダーメイドの活動を実施した。具体的には、学習支援、ゲーム等の遊び、パーティの開催、小物の制作、フリーマーケットでの出店、体育館での運動など。

- 参加者の声
  - とても皆仲が良く、楽しめる場所です。
  - 家に閉じこもるより、ここにきて色んな人とかと話したり、遊んだりできた。家にひとりであるよりみんなといた方が楽しいと思えた。
  - 一人で遠いところに出かけられるようになったのは良かったです！はじめてチョコづくりしたのもたっせいかんがよかったです！おちついてゆっくり出来るのもいいなって思いました！でも、いろいろあるときもあるけどけいけんになって良いときもあります！
  - アスイクは、私にとって、「人生」だと思います。アスイクのおかげで今の私があって、アスイクのおかげで色々なことを学べたので、参加して、とても良かったと思います。

## 実施結果



前年度に引き続き、高い出席率を維持した。

## 概要

- 内容：  
被災・生活困窮世帯の子どもに対する被災者及び地域住民等による食事提供、交流。また、大学生等による宿題等のサポートも行うことで、子どもの参加率、若者の参加を促進した。
- 場所：みやぎ生協多賀城店集会室
- 日時：毎週金曜日17:00～20:30
- 参加費： 無料
- 参加対象：  
被災世帯及び生活困窮世帯の子ども・保護者



(寄付でいただいたケーキでクリスマス会)



(東京から料理教室の先生が参加) (ボランティア手作りの流しそうめん)

## 実施結果

- 参加者数：21名
- 退会率： 0%
- 出席率： 70%



塩竈市子育て支援課、公益財団法人地域創造基金さなぶりと協働で、小学生の放課後の居場所づくりの担い手の発掘、立ち上げ、継続支援を行なった（2017年度からの継続事業）。当事業を通して、8か所の居場所が塩竈市内に立ち上がった。

## 実施内容と実績の概略

実施内容	2017年度	2018年度
講演会	1回/20人	1回/27人
勉強会 (カフェ企画含む)	6回/33人	6回/65人
資金助成	1回/3団体	2回/5団体
研修会	3回/15人	10回/31人

## 居場所のマップ



宮城県社会福祉協議会や子ども食堂の運営団体と共同体を結成し、子ども食堂の立ち上げに関心がある市民等を対象にした講座を開催。講座に参加した個人・団体のうち、15団体が新たに子ども食堂の運営・開設準備を行なっている。

## 実施概要

### ■ 立ち上げ支援講座

- ・ 仙台会場： 36名
- ・ 大崎会場： 25名
- ・ 東松島会場： 18名
- ・ 白石会場： 14名 (計93名)

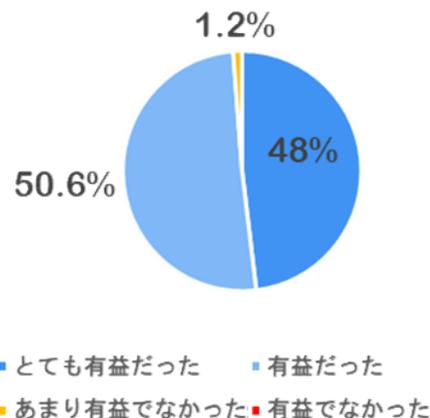
### ■ フォローアップ講座

- ・ 仙台会場： 11名
- ・ 大崎会場： 9名
- ・ 東松島会場： 6名
- ・ 白石会場： 25名 (計51名)

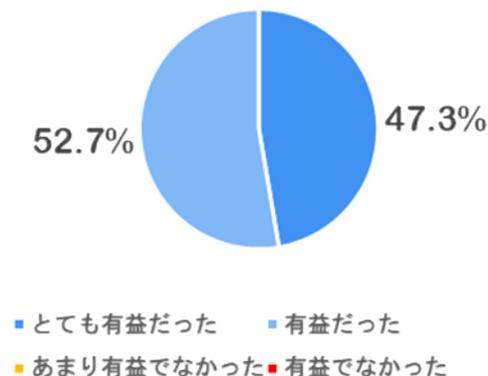


## アンケート結果（一部）

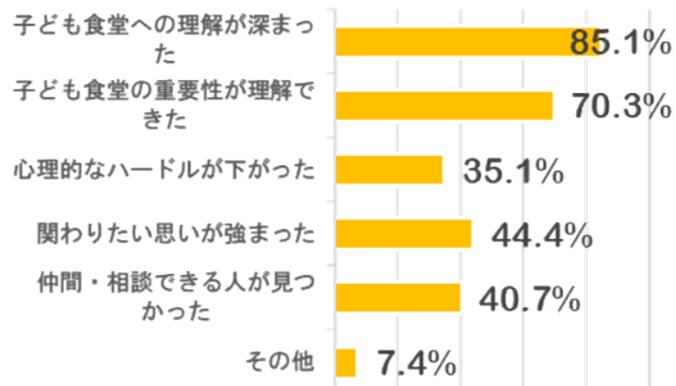
満足度（立ち上げ講座）



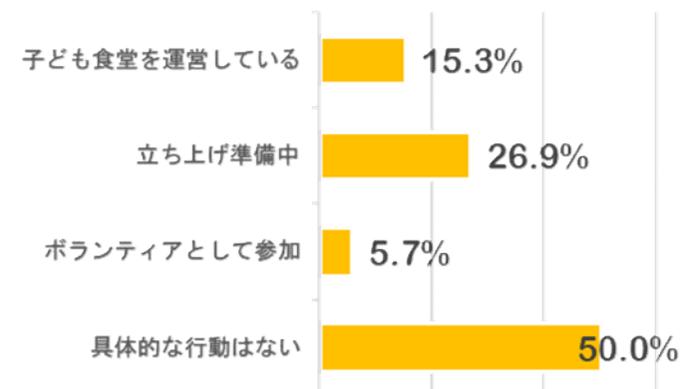
満足度（フォローアップ講座）



講座後の変化



講座後の状態



ボランティアやスタッフのサポート力向上や子どもの理解を深めるために、集合型の研修の場を設けた。（全事業の同時開催）

No.	研修名	実施協力（敬称略）	日時	場所	合計
1	キックオフ総会・研修会	(株)アライブ・ワン 後藤美香		仙台レインボーハウス	88
2	第2回スタッフ全体研修会	・第一部：経験共有ワークショップ ・第二部：講義「不登校の課題はなんだ??」 ファシリテーター：鈴木綾氏	2018/9/9 13:00～ 17:00	仙台レインボーハウス	86
3	第3回スタッフ全体研修会	・第一部 講話：発達障害や虐待の理解 講師：公立黒川病院小児科科長 岩城利充氏 ・第二部 グループワーク： 活動でよくある困った場面について話し合う ファシリテーター：地域社会デザイン・ラボ 遠藤 智栄氏 ・懇親会	2018/12/8 13:00～ 17:00	仙台レインボーハウス	94
4	第4回スタッフ全体研修会	・第1部 当事者インタビュー モデレーター：大橋、当事者：あすのば関係者2名 ・第2部 グループワーク（2018年度振り返り） ファシリテーター：遠藤智栄氏 ・交流会	2019/2/23 13:00～ 17:00	仙台レインボーハウス	82
				合計	350



※ 上記の他、相談支援スタッフ対象のスーパービジョン、フリースクール対象のスーパービジョンを毎月開催。  
 ※ また、外部研修受講奨励制度を導入し、本部職員的能力向上を支援。

## その他：講演・講師、執筆・委員の実績

### 講演・講師

- ◆ 子どものたより場円卓会議 パネリスト
- ◆ 全国子どもの貧困教育支援団体協議会合宿 講師
- ◆ 子ども支援会議 ゲスト講師
- ◆ 仙台市民生委員児童委員協議会学習会 講師
- ◆ せんだい豊齢学園 講師
- ◆ あいコープ学習会 講師
- ◆ 子どもの虐待防止推進全国フォーラムinみやぎ パネリスト
- ◆ 尚綱学院大学記念公演会 テーブルファシリテーター
- ◆ 宮城野区民生委員児童委員協議会研修会 講師
- ◆ JICAノンフォーマル教育研修 講師
- ◆ 涌谷町町民のつどい 講師
- ◆ 宮城教育大学 ゲスト講師
- ◆ 日本生協「子どもの未来アクション・アンバサダー学習講習会」 事例報告
- ◆ みやぎ小児保健セミナー 講師
- ◆ 河北新報「次世代塾」 講師

### 執筆

- ◆ 地域活性化センター「地域づくり」2018年7月号



# その他：メディアでの紹介

- 仙台市「協働まちづくりの実践（事例集）」 放課後まなびサポート事業
- 河北新報4月30日 『子どものたより場円卓会議2018』
- 河北新報6月11日 『子どものたより場円卓会議2018』
- 通販生活WEB フリースクールの紹介
- 河北新報8月6日 <子ども食堂>「長く続ける姿勢大切」仙台で開設支援講座
- 河北新報2月22日 「311『伝える/備える』次世代塾」
- 河北新報3月31日 夜勤務の子育て支援 午後10時まで運営の保育園、JR仙台駅東口にあす開園

